公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 運動療育型児童デイ クライムアップ桑津教室

公表日 R7年 5月 1日

利用児童数 16名

回収数 15名

						利用児童数	16名	回収数 15名
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15				運動できるスペースが十分にある	集団と個別療育のスペースを分けて行うこと で、安全かつ集中できる環境にしていく
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15				適切であると思う。	今後も職員配置を適切に行い、安全面を 強化していく。
体制整備	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、パリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15				ボルダリングと運動するところが分かれ ている	必要に応じた設備や環境の整備に努めて いく
備	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				清掃や衛生面はきちんとなされていると 思う	感染対策、清潔な環境作りに努めている ことをもっと伝えていくことで安心して もらう
適	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	15				こどもの特性に応じた活動メニューで支援してくれている	特性に応じた環境整備、適切な支援で安 心と満足度の向上に努めていく
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と 合っていると思いますか。	15				支援プログラムが分からない	ホームページにて公表していることを もっと保護者に周知していく
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	15				ニーズに沿った目標が設定されている	成長に伴って変化するニーズや課題を しっかり分析した上で、適切な支援計画 を作成していく
切な支援の	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの 「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適 切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思います か。	15				ご意見はありませんでした。	
提供	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				個別支援計画に沿って支援してくれてい る	支援の成果を分析した上で、より達成で きる支援内容に変更することも考えなが ら適切な支援を行っていく
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15				様々な活動があり、子どもも楽しみにし ている。	今後も個々の特性を考えながら楽しんでいた だける活動を行っていく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。	7	5		3	交流する機会はほとんどない	地域交流の機会を設けられるよう努めて いく
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	15				ご意見はありませんでした	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	15				されている。	今後も変わらず保護者様にお子様にあった支援を分かりやすくお伝えさせていた だきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8	5		2	懇談や送迎時に相談している	より専門的にアドバイスや学びの機会を 提供できるよう検討していく
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況に ついて共通理解ができていると思いますか。	15	-			一日の様子を伝えてくれる。	その日にあったことをその日のうちにお 伝えできるように今後とも行っていきま す。
保	16	定期的に、面談や子育でに関する助言等の支援が行われていますか。	15				懇談や送迎時にしてくれている。	今後も継続して相談、助言は都度対応するように努めていく。
護者へ	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	15				要望に応じてもらえている	保護者、こどもの思いを尊重し、共感的 姿勢で信頼を失わないよう支援していく
の説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	3		2	ご意見はありませんでした。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	15	J		2	いつでも相談しやすい	全ての保護者が相談しやすい体制作りを 行い、悩みを抱えたままにならないよう 尽力していく

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると			ご意見はありませんでした	
	20	思いますか。	15			
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制 等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信さ れていますか。	45		SNSでの発信がある	インスタやブログ (ホームページ) で情報発信していることをもっと周知してい
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15		ご意見はありませんでした。	
			15			
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていま			ご意見はありませんでした。	
非		すか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15			
常時	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	3	定期的にしてくれている。	年2回の災害訓練と消防署員を招いての消防訓練、その他毎月活動の中で避難訓練に繋がる 取り組みを行っており継続していく
等			12	3	ご意見はありませんでした	
の対応	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、 安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15			
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15		何かあったらすぐに連絡してくれる。	怪我や事故があった際は迅速にご連絡 し、怪我時は写真もお付けして状況をお 伝えさせていただいています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15		安心していると思う。	個々のこどもの特性に合わせた柔軟な対 応で、今後も安心感を持って通ってもら えるよう努めていく
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	-		楽しんで通っています。	更に喜んで来所していただけるように楽しい イベントを取り入れていきます。
			15		できることが増えた。	今後も個々の特性を生かしながらできる
	29	事業所の支援に満足していますか。	15		ことでして17日人に。	っている。 ことが増えて自信が持てる支援を行っていく。